

平成 28 年度第 1 回農用地等の借受希望の公募結果（速報値）

農地中間管理事業を活用した農用地の借受け希望者の募集を締め切りました。応募件数は、延べ 611 件、総面積は、延べ 799 ha という結果となりました。平成 27 年度第 1 回の応募実績と比べ、件数で▲373 件、総面積で▲1,416 ha といずれも減少しました。農地の集積を促進するためには、更に多くの借受希望者を募る必要があります。10月に第2回の公募を実施する予定です。なお、確定数値、詳細は、近日中にホームページで公表します。

【応募者の分類】

総件数	個人	法人	希望面積 (ha)
611	424	187	799
(984)	(714)	(270)	(2,215)
<62%>	<59%>	<69%>	<36%>

※（ ）は前年度件数、< >は前年比

京の農業応援隊と連携し農地中間管理事業の加速化を

～原田推進室長が京都丹波農業応援隊員にレクチャー～

京都府の農業農村を支える担い手の育成を目指して結成された京の農業応援隊。大規模経営を目指し経営革新等に取り組む農業者が農地集積等により農地を確保出来るよう支援することも重要な支援策の一つです。7月13日、南丹農業改良普及センターの皆さんに農地中間管理事業の仕組みやメリットなどを理解いただくため説明会を開催しました。「新規就農者に転貸する場合の条件等はあるのか」といった現場での説明を想定した質問が出されるなど皆さんの真剣さが感じられました。今後も応援隊としっかりと連携・協力し、事業の加速化を目指します。

(写真上：レクする原田室長 写真下：真剣に聞き入る隊員)



京力農場プランで地区の農業を守る～宮津市養老中部地域～

宮津市養老中部地域（大島、岩ヶ鼻、外垣、長江）の農業経営の将来を考えて地域を守る「京力農場プラン」の検討会が7月28日、養老地区公民館で地区内の農地の借受け農家や法人13名の農家の参加を得て開催されました。6月に中核的担い手農家や法人を中心としてスタートした検討会、7月はほぼ毎週開催し、集中的な検討を積み上げてこられました。4回目となる今回は、京力農場プラン策定の検討と併せ、宮津市農林水産課佐藤主事から農

地中間管理事業と地域集積協力金についての説明もありました。参加者から中間管理事業における賃料の算定方法や地主と借り手との関係性などの質問に対し、宮津市から「双方が安心して貸し借りが出来ることが事業の趣旨」との説明がされました。地域としては、これを受け、プランの策定と地域集積協力金の交付に向けた事務手続きを進めていくことが確認されました。当機構丹後地域担当の石嶋現地駐在員も毎週検討会に参加しており、宮津市では初めて取り組まれる農地中間管理事業の成功に向け、今後も引き続き地域を支援していきます。



☆参入企業の真剣な取組み紹介③☆

～阿部農地利用推進員レポート～

黄金唐辛子と言えば、**祇園味幸**。同社は京丹波町などの契約農家に栽培を託し、黄金に輝く唐辛子は生まれてきた。品質・技術向上を念頭に自社ファーム（**味幸ファーム株式会社：畑田 清美社長**）を設立し栽培に乗り出して5年目を迎えるが、今年は新たに京都大原野で黄金色一色に染まる畑の実現に向け着手する。農地については常に農地中間管理機構に相談。ベストな環境での栽培継続を維持している。静かな唐辛子ブームの行く末も明るく、契約農家も含めて、高収量・高収益に繋がる創意と工夫を積み重ね、お客様に本当に喜んで頂ける商品をお届けするため、「更なる品質向上を目指し、お客様の笑顔が一番のご褒美」と、益々意欲を見せる畑田社長でした。



たわわに実る黄金唐辛子



☆地域集積協力金を活用した事例紹介②☆

～京丹波町鎌谷地区～

農地中間管理事業により地域の農地面積の2割以上を集積した場合は、地域集積協力金が地域に交付されます。この交付金を使って農道や水路を補修するなど地域の農業振興のために有効活用された事例をご紹介します。今回は、京丹波町鎌谷地区です。

同地区では、集落営農組織を法人化し、株式会社鎌谷を設立、25年3月に同社を地域の中核的担い手とする京力農場プランを作成し、26年度・27年度に農地面積37haの約3割、11haの農地集積を実現しました。この集積により交付された協力金を原資に、農地耕作条件改善事業を活用し、27年度から2カ年計画で農道の舗装化を進めています。同地区では、単に営農条件が改善されたということにとどまらず、地域住民が参加し、道の駅「味夢の里」に出品する加工品開発に乗り出すなど地域の活性化にもつながっています。



✿イベントガイド✿

開催日	催事名	会場	お問い合わせ
9月12日(月)	農地農政相談	福知山市内複数会場	福知山市農業委員会事務局
9月15日(木)	山城地域就農相談日	府木津総合庁舎	山城北農業改良普及センター 山城南農業改良普及センター
<p>◆ある程度の就農準備ができている方を相談対象として想定しております。</p> <p>◆就農準備がどの程度できているかにより、他の相談機関を紹介する場合がありますので、御了承ください。</p>			

京都府農地中間管理機構では、平成28年4月から「FarmBankNews」を発行し、農地中管理事業を中心とした様々な情報をお届けします。